

# 来週の「売り物記事」はこれ



2019年6月14日号

毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

「新しい落語」に挑む

柳家花緑さん

23日(日)



落語家の柳家花緑さん(47)は近年、都道府県ごとの題材を集めた新作を披露したり、洋服を着て椅子に座って演じたりする試みをしています。五代目柳家小さんの孫に生まれ、22歳で戦後最年少真打ちに昇進した実力者が「新しい落語」に取り組むわけと、古典への思いとは。



そして、読み書きが苦手だった「発達障害」についてもうかがいました。

「元気をもらった」は、いつから、なぜ広まったのか？

夕刊特集ワイド 24日(月)

「元気をもらった」「勇気をもらった」という表現を、「平成」から「令和」に変わった改元前後のテレビニュース番組の街頭インタビューなどで、よく耳にしました。元気や勇気は本来、あげたり、もらったりするものではなく、自ら元気や勇気を出すものではないのでしょうか。このような言い回しがいつごろから、なぜ広まったのかを解き明かします。

蚊の生態を知ろう

くらしナビ面 25日(火)

デング熱やジカ熱のウイルスを運ぶヤブカは、夜に家の中まであまり飛んでこない。愛犬のフィラリア症感染は、散歩中より屋内で刺される方が危険——。蚊に悩まされる時期です。蚊の生体を正しく知ってもらおうと「蚊学」の普及にいそしんでいる専門家に、対策の基本を教わりました。

論点 「政治家の資質」

オピニオン面 26日(水)

日本維新の会の丸山穂高衆院議員が5月、北方領土を取り返すには「戦争しないとどうしようもなくないですか」などと発言して批判が相次ぎました。参院選に同党から立候補予定だった長谷川豊氏は差別発言で出馬断念。両氏や桜田義孝前五輪相をはじめ、政治家としての資質を問われる失言や失態が最近、目立ちます。有権者はどう対応してゆけばいいのでしょうか。

『新しい国』の行方～2019参院選

社会面 26日(水)

年金、消費増税、外国人問題、女性活躍……。『新しい国』の創造を打ち出した安倍晋三政権下で制定した制度、設定した数値目標、実施した政策は、国民生活にどんな変化をもたらしたのか。間近に迫った参院選挙の争点となる課題の現場を歩くと同時に、制度や数値目標が達成されているかどうかを紐解き、長期にわたる安倍政権を検証します。

## 野鳥は拾わないで

くらしナビ面 27日(木)

シジュウカラやツバメ、ヒヨドリなどのヒナが巣立ちの季節を迎えています。中には地上に落ちてしまうものもいて、つい親切心で保護しがちですが、そもそも野鳥を捕まえたり飼ったりすることは鳥獣保護法違反。生存率も下がるそうです。「日本野鳥の会」によると、見つけた時には手を出さず、その場をそっと離れるのが良いとか。自然の摂理を考えてみましょう。

## 「長引く黒潮大蛇行」

環境面 27日(木)

日本列島の太平洋側を流れる黒潮。その流路が紀伊半島沖から東海地方沖で南へ大きく蛇行する「黒潮大蛇行」が、2017年8月から続いています。大蛇行は過去にも何度か起きている現象で、漁業や海運、天候、海洋生物などに影響を与えます。発生する仕組みや要因、いつまで続くのかなどを、専門家への取材を基に紹介します。

## 夏の汗対策

くらしナビ面 29日(土)

蒸し暑く、汗をかきやすい季節になりました。汗は臭いが気になるだけでなく、肌荒れの原因になり、化粧崩れも起こします。専門家の話から、汗の成分や臭いを抑える方法、肌を守るコツなどを紹介します。

※ 場合によっては内容が変更することがあります。